

# 連合岩手釜石・遠野地協

# NEWS LETTER

連合岩手釜石・遠野地域協

NEWS LETTER 第 33 号

発行人 小島 安友

編集人 菊池 利行

2023.5.30 発行



釜石集会で挨拶する小島議長



釜石集会展覧会で単組から景品提供・紹介



TETTO 前広場

安藤副議長によるシュプレヒコール！

釜石地区集会は釜石情報交流センターを会場に午前10時30分開会、来賓として小野共県議、菊池秀明市議、三浦一泰市議、菊池浩喜・東北労金釜石支店長にご出席いただきました。集会の冒頭、実行委員

長である連合釜石・遠野地協の小島議長が挨拶、格差や貧困の連鎖を招かないよう運動の拡大を訴えました。続いて小野共県議、菊池秀明市議、三浦一泰市議から挨拶をいただき、その後野田武則釜石市長、平野公三大槌

町長からの連帯のメッセージが紹介されました。今年の集会は、コロナ予防対策を踏まえて、参加人数や開催時間を短縮する等、規模を縮小しての開催となりました。集会の前半では、パフォー

2023年5月1日(月)、「支え合い・助け合う社会をつくり、暮らしを守る！笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう！」をスローガンに「第94回メーデー集会」が県内各地区で行われました。コロナの感染状況を勘案しながら全地区で実施になりました。釜石地区集会は規模縮小の方針から組合員限定で約80名、労働者の祭典を祝いました。一方、遠野地区集合同様に約40名の参加で実施になりました。パレードは、残念ながら両地区とも見送りになりました。

## 多様性を認め、平和・人権を守ろう

### 第94回メーデー地区集会

釜石地区、遠野地区、今年は共に開催

メーデー実行委員会 / 連合・平環センター・友愛会 三団体の共催

**メーデーの始まり**  
：8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間はわれわれの自由に！  
働き方改革が進められるこの時勢、賃金の改善や根本的な働き方を直視しなくてはなりません。

遠野地区集会は同日、遠野市民体育館を会場に午後2時に開会、来賓として、小松正真市議、高橋敬二・東北労金遠野支店長、滝本昭信・こくみん共済釜石支店長にご出席いただきました。集会の冒頭、実行委員小島議長が挨拶、菊池利行議長が挨拶、安藤副議長が挨拶、格差

その後、釜石市民センターTETTO前広場に移動して、各単組の決意を表明する集会を開きました。久しぶりにシュプレヒコールが青空の下に響き渡りました。



組合旗を持って集合 / 遠野地区

の実現をめざそうと訴えました。続いて、小松正真市議から挨拶をいただき、その後、多田一彦遠野市長からの連帯のメッセージが紹介されました。今回は、規模を縮小したの実施になりましたが、各単組によるパフォーマンスコンテストやお楽しみ抽選会によって大いに盛り上がりました。パフォーマンスの部の最優秀賞は遠野市保育労が獲得しました。「地域の絆を働く者の力を合わせて 深めていこう 未来のために」というテーマで実施されたメーデー集会です。寛容な社会を構築するための意義と意味を再考できた集会になりました。今回、両地区ともデモパレード行進を中止しました。次回は、広く市民に参加を求め、市街にシュプレヒコールが響き渡る集会になることを祈って止みません。

5月6日釜石鵜住居復興スタジアムで行われたクリタウオーターガッツシュ昭島戦(テレビジョン2/3入替戦)で、22対22と後半の追い上げで引き分けに持ち込みました。二部残留は次回に持ち越しになりました。小雨の中、18人の応援参加者で大いに盛り上



怒濤のような後半の終了間際の攻撃でした。



小雨の中、あきらめずに応援しました。がんばった!

**全力で応援  
入替戦  
後半の  
追い上げで  
ドロー**

がりました。その後、グッドニュースが届きました。

NTT ジャパンラグビーリーグワ  
ン 2022-23 ディビジョン 2/3 入  
替戦 第 2 戦クリタウオーターガ  
ッツシュ昭島 (D3 3 位 )  
2023年5月13日(土) パロマ瑞穂  
ラグビー場(愛知県)  
38 対 28 で 勝利 !  
**D2 残留決定**

**地域支援行動**  
釜石・大槌地区を街頭宣伝行動

連合地協では、2日間で約150kmの街頭宣伝行動を行いました。市民応援の一助になればとの願いが繋がりました。来期もD2のカテゴリーで、そして鵜住居復興スタジアムで試合が行われる予定です。一時は、どうなるかはらはらしましたが、連合岩手釜石・遠野地域協議会は、地域支援活動の一環として、引き続き応援していきます。



県交通労、東北電労、日鉄釜石労組、COOP 共済。協力に感謝です。

**「尾崎半島火災現場」への植樹**  
5月27日(土) 昨年引き続き開催  
自然の再生力を再度実感!

尾崎半島火災現場植樹活動は、晴天の下、実施されました。1年に30センチメートルも育つという説明を聞いて、成長することを心から願いながら、一本一本丁寧に植樹しました。鹿の害がはびこる現場です。今後も継続することの必要性を感じました。

県の補助事業が昨年3月で終了しましたが、補植の必要性もあること、釜石地方森林組合と協議の上、コロナ感染予防対策を取りながら、実際の運びになりました。これまで、山林再生にあたって、釜石・遠野地協では植樹活動のほかにも被災木を活用したグッズの製作なども支援を続けてきました。今年で通算5回目となる植樹です。10名の参加があり、釜石地方森林組合の高橋幸男理事の指導の下、急勾配の斜面に植林をしました。鹿による被害で、茶色に変色した苗木や、硬い岩場の中で、根づかなかった苗木を一本一本確認しながらの補植活動になりました。余りにも広い山火事の現場を眺めながら補植の必要性を強く感じました。



急勾配の現場



高橋理事からの説明

「海は森の恋人」という言葉もありますが、海を守る役割としての森林の大切さも再確認する機会にもなりました。その後、大平町のシエアハウスマルダイにて、反省会を行い、来年度も同時期に開催することが確認されました。現地でも太平洋を見ながらの昼食交流会もあればいいのではという意見もありました。多くの皆さんの参加をお待ちしております。